

NPAC新組織の発足について

～自動車用塗料事業のグローバル一体化に向けて～



2020年10月1日

目次

1. 本件の概要と戦略的な意義	—P3
2. NPACとは	—P4
3. NPAC新組織体制	—P5
4. アジア合併事業100%化・インドネシア買収に伴う資本関係の変化	—P6
5. 再編のポイント	—P7
6. 世界の自動車用塗料需要の実績と見込み	—P8
7. 当社の自動車用塗料事業の概要	—P9
8. 当社の自動車用塗料事業の沿革	—P11

1. 本案件の概要と戦略的意義

アジア合併事業100%化・インドネシア事業買収を実現する一体運営

■ 概要と目的

「自動車・二輪用塗料事業」の組織をグローバルに再編する(2021年1月1日付)
「自動車用塗料」としての「事業軸」で一体運営する

1. 日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社を自動車用塗料事業のグローバルな統括会社と位置づけ、レポーティングを一本化する
2. アジアの自動車用塗料事業に加え、欧米を中心とした自動車用塗料事業の機能を統合する
3. 顧客対応強化に向けたGKAM制度*を導入する *グローバルキーアカウントマネージャー制度

■ 戦略的な意義

1. アジア合併事業100%化・インドネシア事業買収に伴う攻めの経営を加速する
2. お客様のニーズに即応できるグローバルな営業・R&D体制を構築する
3. 国内の自動車用塗料工場の能力増加・生産性向上への投資を強化する
4. 欧米の自動車用塗料ビジネスを強化する

Customer-Centricで最も顧客に信頼される自動車塗料会社となる

2. NPACとは

自動車塗料事業の組織再編をグローバルで実施

日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)は、当社グループのすべての自動車・二輪用塗料事業の統括会社として、その略称をNPACとする。

2019年度実績で単純合算後1500億円超え※¹の規模に。

現組織

NPAC 2021年1月1日(予定)

会社名



日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)



NIPSEA (自動車用関連)



NPAC (エヌパック)
事業統括会社である日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)の略称

社員数



約3,200名



約2,600名※²



約5,800名

関連会社



34社(欧米ア含む)



19社(アジア)※³



53社(グローバル)

※¹ 2019年度の自動車用塗料売上高の実績にP.T.Nipsea(インドネシア)の自動車・二輪用塗料売上高を単純合算した数値

※² P.T.Nipsea(インドネシア)を含む

※³ 自動車・二輪用塗料事業を行っている会社をすべて含む

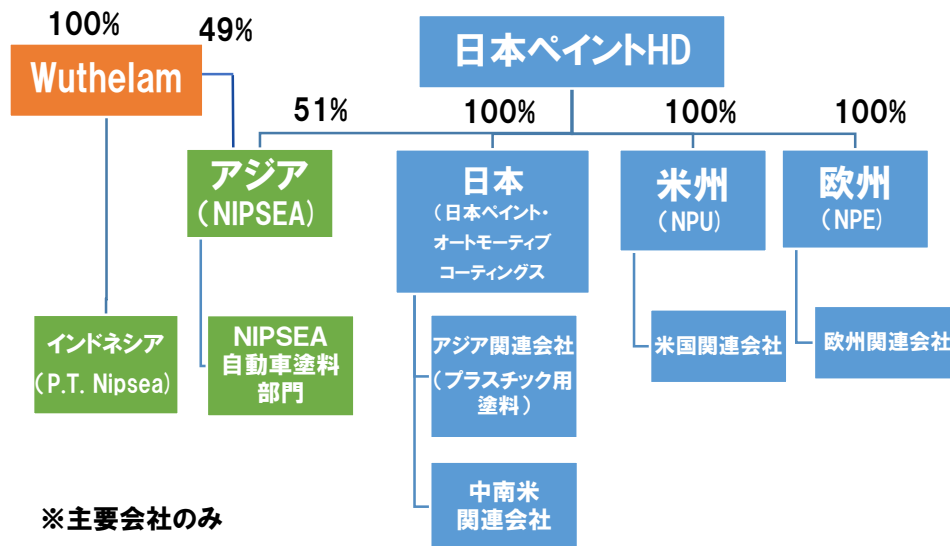
3. NPAC新組織体制

「自動車用塗料」としての「事業軸」で一体運営

NPACの下で、グローバルな塗料事業を展開
～地域で混在していたお客様の窓口を一本化し、スリムで効率的な体制を構築する～

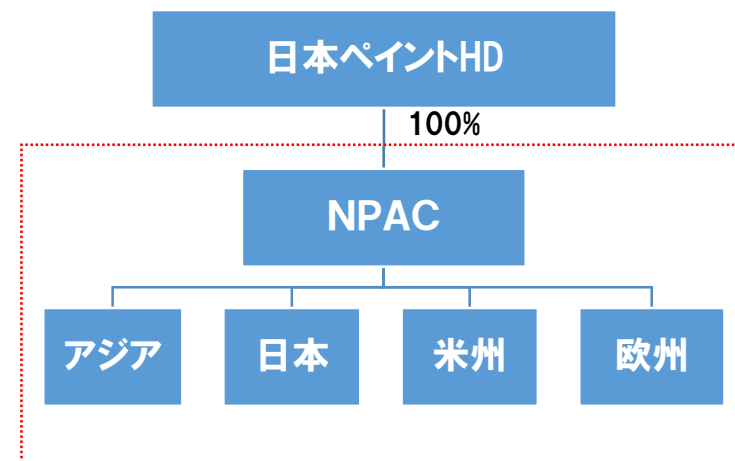
自動車用塗料組織再編前

2020年10月1日現在



自動車用塗料組織再編後

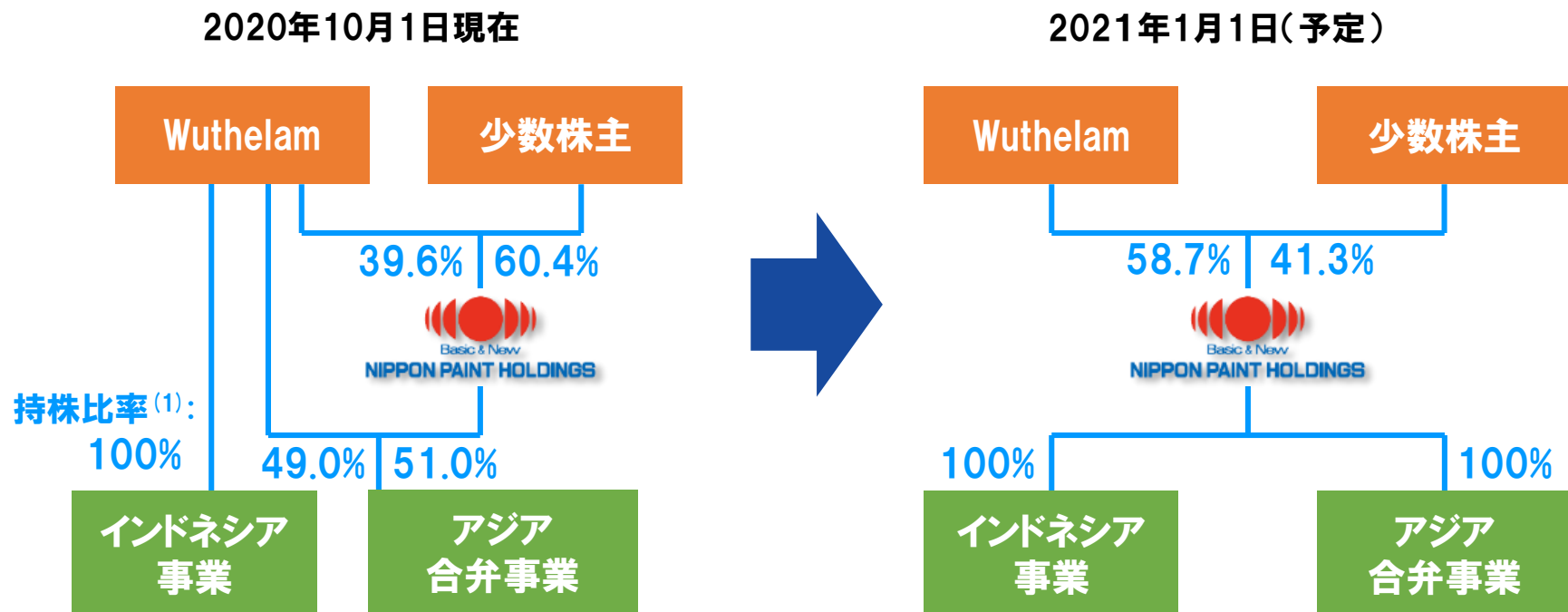
2021年1月1日(予定)



※2021年1月1日に発足する新体制において統括会社となる日本ペイント・オートモーティブコーティングスの略称をNPACとします。登記上の社名に変更はありません。

4. アジア合併事業100%化・インドネシア買収に伴う資本関係の変化

資本関係を一本化・株主価値最大化に向けた効率的な経営体制に



※持株比率の計算の分母には、2020年6月末の発行済株式数(自己株式除く)を使用

5. 再編のポイント

Customer-Centricな組織体制

お客様への迅速な情報・サービスの提供をワンストップで実現する。

顧客サービスの 更なる向上

- ・ GKAM※1、LKAM※2制度の導入
- ・ CASE※3等の自動車ビジネスモデルの変革への対応
- ・ 顧客視点に基づくグローバルベースの研究開発の強化

効率化・生産性向上の 更なる追求

- ・ 国内工場の生産能力の増強や効率化に向けた最新設備の導入、ならびに技術革新などへの積極的な投資
- ・ 自動車用塗料事業に関する海外関係会社の機能統合
- ・ 調達、R&D等のグローバルな一体運営の推進

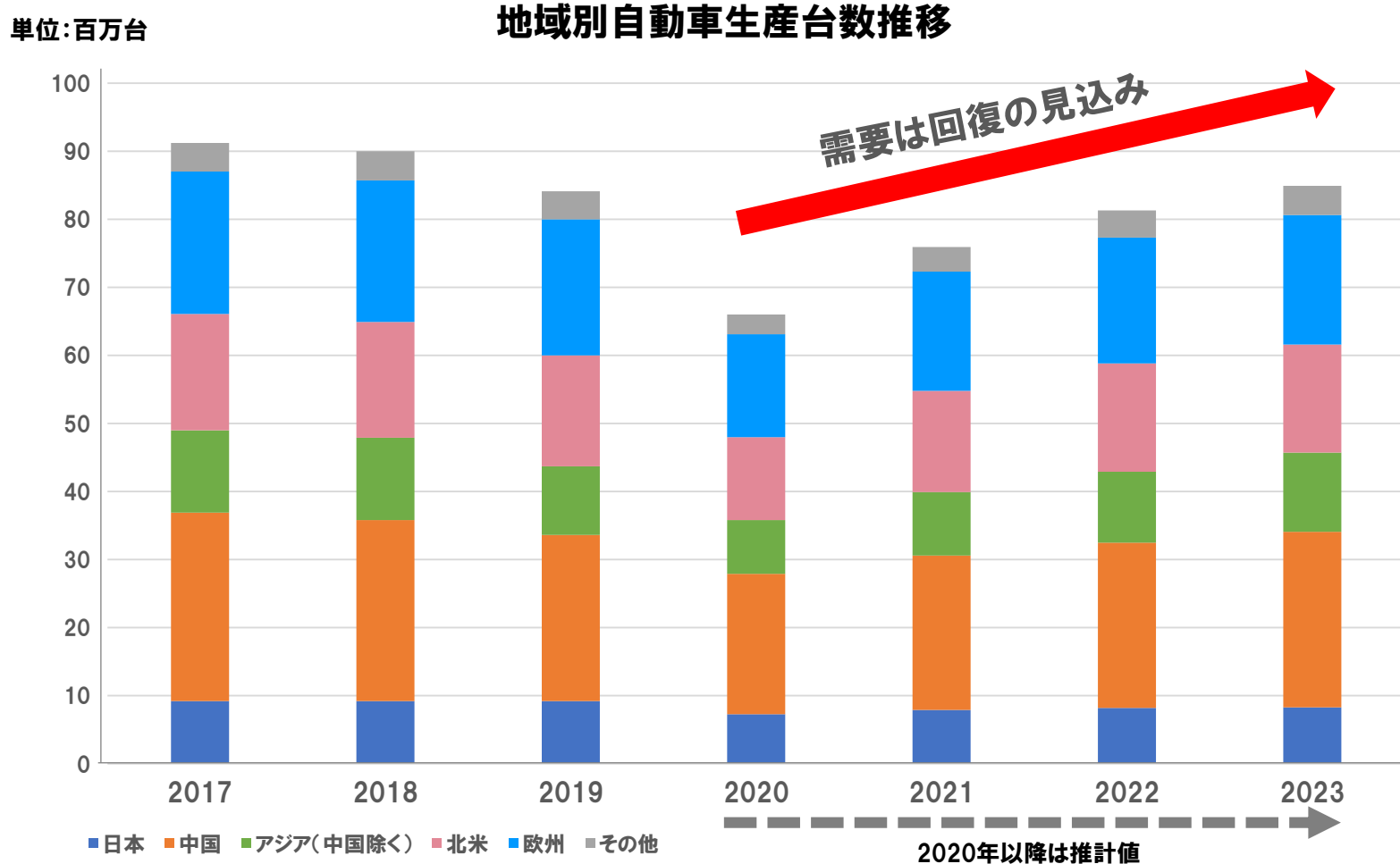
※1 グローバルキーアカウントマネージャー (Global Key Account Manager) の略称

※2 ローカルキーアカウントマネージャー (Local Key Account Manager) の略称

※3 Connected, Autonomous, Shared, Electricの略称

6. 世界の自動車用塗料需要の実績と見込み

世界の自動車生産台数は新型コロナウイルスの影響で減少も、2023年までに回復見込み

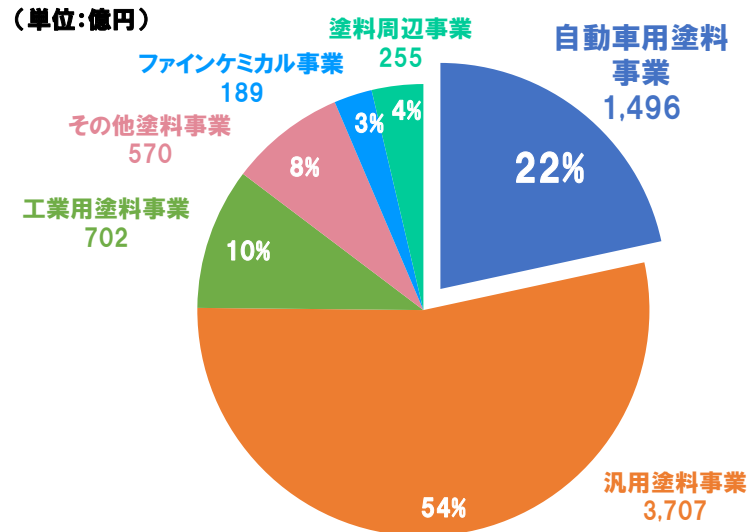


7. 当社自動車用塗料事業の概要

自動車用塗料事業はアジアが拡大するとともに、当社事業の20%以上を占める

当社自動車用塗料売上構成比

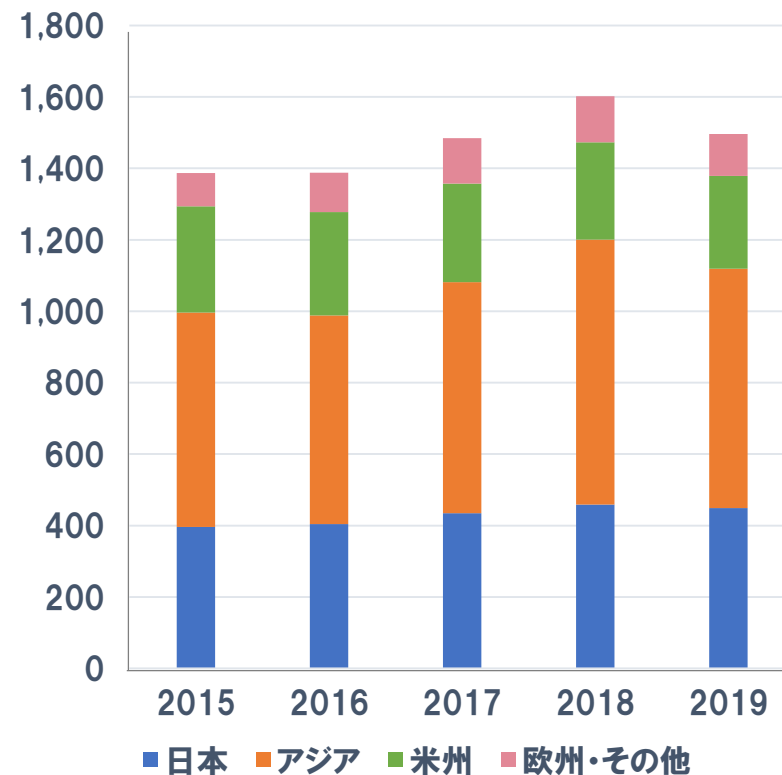
(2019年度実績)



当社自動車用塗料売上推移

単位:億円

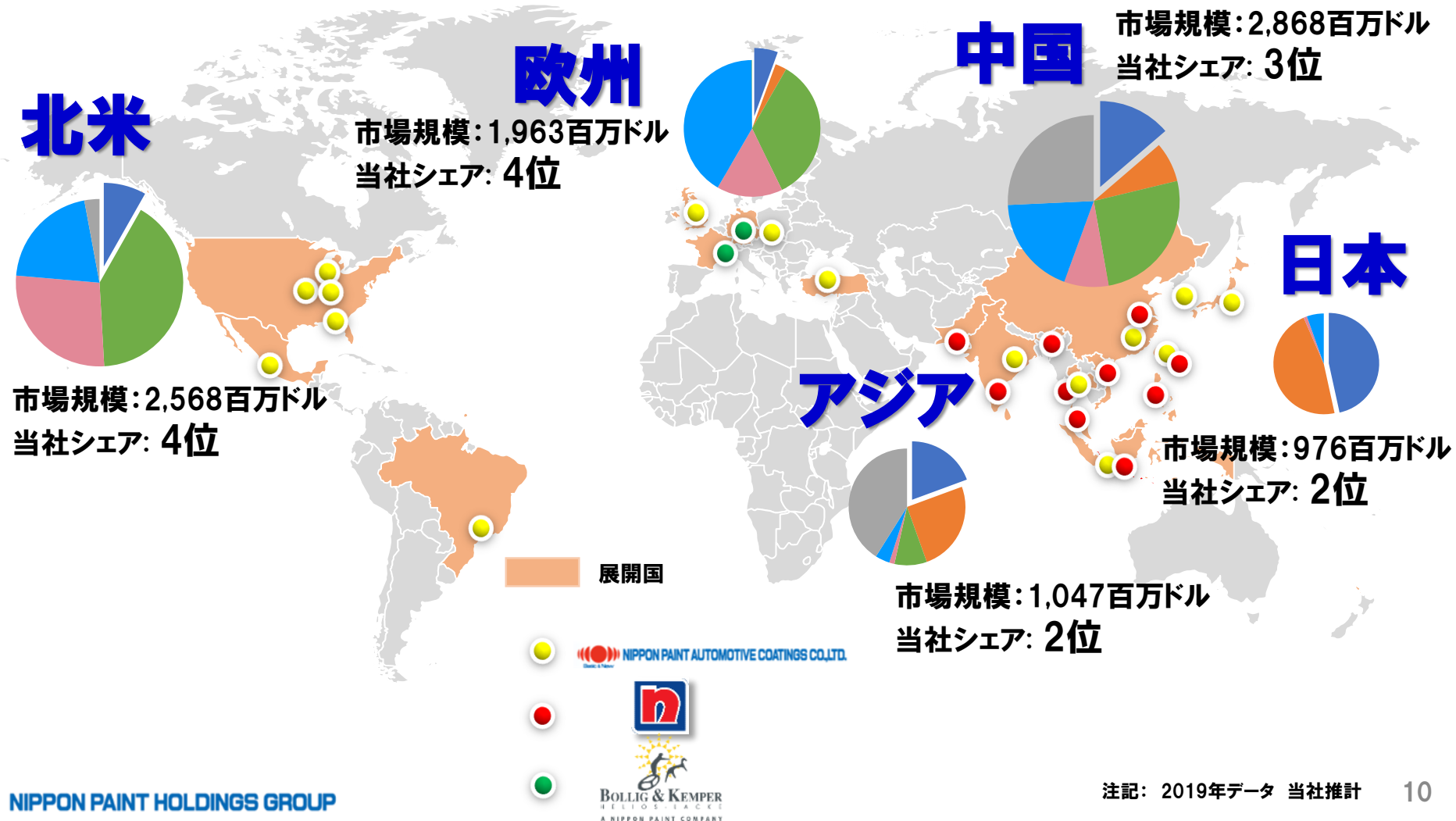
(2019年度実績)



※2016年のデータは本来9か月決算である中、当該数値は12か月決算の試算値。
 ※2015年:4-3月、2016年:4-12月、2017年以降:1-12月

7. 当社自動車用塗料事業の概要

日本、中国、アメリカ等を中心に22ヵ国・地域で展開
グローバルシェア3位を確保



8. 当社自動車用塗料の沿革—Wuthelam、日本ペイント(NPAU)の歴史

約60年にわたるアジア協働展開・2014年連結化後グローバル化を推進

